(技術士事務所 稲葉 IT ガバナンス研究所 脱炭素 DX モニタリング)

週刊 脱炭素 DX ニュースウォッチ 2025 (日経 XTech 編)

第12号:2025年6月16日(月)~ 2025年6月22日(日)報道分

週刊 脱炭素 DX ニュースウォッチ 2025 (日経 XTech 編) の第 12 号を配信いたします。

月曜から日曜までの1週間に掲載された日経XTechのオンライン記事から、「気候変動」や「脱炭素」、「再生可能エネルギー」などについて情報・技術・イノベーション活用関連の記事をピックアップし、原則毎週月曜日に掲載しています。

<目次>

- □ 6/16 (月)
- □ 6/17 (火)
- □ 6/18 (水)
- □ 6/19 (木)
- □ 6/20 (金)
- □ 6/21 (±)
- □ 6/22 (日)

ピックアップ記事一覧(全件)

先週 1 週間(月~日)の気候変動、脱炭素、再エネについて情報・技術・イノベーション活用関連記事をピックアップした結果について、以下にその全件の記事を時系列で掲載いたします。

- *1) タイトル行をクリックすると日経 Xtech の該当記事 URL に移動しますが、記事を読むために日経 XTech の有料アカウントを契約している必要があります。
- *2) 各記事のタイトルに続いて、編集者が生成 AI(ChatGPT)と対話をしながら作成した数行の要約文章を記載しています。

□ 6/16 (月)

【6/16・日経 XT】ニュース解説 エプソンが地下資源消費ゼロの動きを加速、八戸市で不要金属再生 高市 清治 日経クロステック/日経ものづくり

https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00001/10761/

エプソングループは青森県八戸市で不要金属を再生利用する新たな取り組みを始めました。2025 年 6 月に竣工した エプソンアトミックスの北インター第二事業所では、社内の金属くずや地域の廃材を精錬しインゴット化、これを金属粉末 へ加工して再利用します。独自の水アトマイズ法や SWAP 法により、多様な用途に対応可能な微細金属粉末も生産 します。この再生サイクルで、資源枯渇や原料価格高騰リスクに備え、資源循環を推進します。エプソンは 2050 年まで に枯渇性資源の消費ゼロを目指し、再エネ活用も進めています。

目次へ

□ 6/17 (火)

【6/17・日経 XT】自動車グローバルウオッチ 競争激化する商用車メーカー、自動運転や水素技術などで共同開発急ぐ 三菱ふそうと日野自動車が 2026 年 4 月から経営統合 櫛谷 さえ子 日経 Automotive 専属ライター https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/03214/061300010/

三菱ふそうトラック・バスと日野自動車は、2026 年 4 月から経営統合し、商用車の共同開発を進めます。新会社は Daimler Truck とトヨタが各 25%を出資し、東京証券取引所に上場予定です。脱炭素化に向け、電動化や水素技術、自動運転技術の開発を加速させ、スケールメリットを活用してコスト削減を図ります。トヨタは水素燃料電池、 Daimler Truck は大型商用車技術で強みを持ち、CASE 技術全般でも協力を深めます。物流需要増やドライバー不足への対応も統合の重要な狙いです。

目次へ

□ 6/18 (水)

該当記事なし

目次へ

□ 6/19 (木)

【6/19・日経 XT】 太陽電池シールが都市を覆う ペロブスカイト太陽電池、薄型軽量では日本メーカーに勝機 第2部:次世代太陽電池 野澤 哲生 日経クロステック

https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/mag/ne/18/00130/00002/

ペロブスカイト太陽電池は日本発の薄型軽量技術で、変換効率は結晶 Si 並みに向上しましたが、耐久性との両立が課題です。積水化学は 10 年耐久のフレキシブル型を 2025 年に事業化予定で、東芝 ESS も高効率モジュールを開発中です。一方、中国勢はガラス基板中心に量産を急拡大していますが、耐久性情報は乏しく課題が残ります。日本は液晶技術応用の封止材で優位性を狙いますが、コスト低減には量産拡大が不可欠です。

【6/19・日経 XT】 Emerging Tech インタビュー ロボや半導体に軸足、「改良主義」から脱却 千々岩 敏彦氏 (住友重機械工業 取締役専務執行役員技術本部長) 大下 淳一 日経クロステック

https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/mag/ne/18/00007/00295/

住友重機械工業は、ロボット・半導体・医療機器・環境エネルギーの 4 分野に重点投資し、2030 年に営業利益 2.4 倍を目指します。ロボティクスでは自律型ショベルや壁面走行ロボットを開発し、省人化や自動化を推進します。半導体ではイオン注入とレーザーアニール装置の統合で競争力を強化し、医療では陽子線治療の次世代技術「フラッシュ治療」や BNCT の対象拡大を進めます。環境分野では液化空気エネルギー貯蔵(LAES)やカーボンネガティブ技術の開発に注力しています。 社外研究機関との連携や先を読む開発姿勢も重視しています。

【6/19・日経 XT】 太陽電池シールが都市を覆う 屋根と壁の太陽光パネル、国内電力消費量の 1.7 倍を発電 第 1 部:導入可能量 野澤 哲生 日経クロステック

https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/mag/ne/18/00130/00001/

日本ではメガソーラーの適地が減少する中、建物の屋根や壁面への薄型軽量太陽電池の設置が注目されています。ペロブスカイトなど次世代太陽電池は軽量で柔軟性があり、耐震基準を気にせず設置可能です。屋根だけで 452GW、壁面を含めると最大 1537GW の導入が可能と試算され、日本の消費電力の約 1.7 倍に相当します。東西壁面は発電量の季節変動も少なく、需要ピークに合致しやすい利点もあります。営農型発電や耕作放棄地活用も期待され、今後はペロブスカイト、有機薄膜、薄型結晶 Si、カルコパイライトの 4 技術が競い合う見通しです。

【6/19・日経 XT】ニュース解説 日本製鉄、US スチール買収完了 橋本会長「2 兆円は極めて合理的」 高市 清治 日経クロステック/日経ものづくり

https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00001/10795/

日本ではメガソーラーの適地が減少する中、建物の屋根や壁面への薄型軽量太陽電池の設置が注目されています。ペロブスカイトなど次世代太陽電池は軽量で柔軟性があり、耐震基準を気にせず設置可能です。屋根だけで 452GW、壁面を含めると最大 1537GW の導入が可能と試算され、日本の消費電力の約 1.7 倍に相当します。東西壁面は発電量の季節変動も少なく、需要ピークに合致しやすい利点もあります。営農型発電や耕作放棄地活用も期待され、今後はペロブスカイト、有機薄膜、薄型結晶 Si、カルコパイライトの 4 技術が競い合う見通しです。

目次へ

□ 6/20(金)

【6/20・日経 XT】 ZEH-M 最前線 第8回 先行事例の検証 Nearly ZEH-M の「代々木参宮橋テラス」、竹中工 務店が賃貸住戸を2年追跡 有岡 三恵 ライター

https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/03228/060500008/

竹中工務店が開発した高級賃貸マンション「代々木参宮橋テラス」は、国内初の Nearly ZEH-M 認証を取得しました。高断熱性能と自然通風の工夫、AI 搭載のエネルギー管理システムにより、電力の自家消費率は 92%に達しました。太陽光発電の余剰電力を活用し、CO2 排出を削減しています。設計時には一次エネルギー消費量 76%削減を見込んでいましたが、実績は 37.5%減に留まり、居住者の生活スタイルが影響したと分析しています。今後は住民の行動変容を促す工夫も重要としています。

【6/20・日経 XT】 NEWS 時事・プロジェクト 行政 直轄工事で脱炭素の建機使用を原則化 門馬 宙哉 日経クロステック/日経コンストラクション

https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/mag/ncr/18/00005/061100940/

国土交通省は直轄工事において、脱炭素型建設機械やコンクリートの使用を原則化する方針を示しました。建機は 2027 年度から燃費基準強化、2030 年度以降は基準達成機の使用を原則化します。コンクリートはフライアッシュや 高炉スラグを用いた低炭素型を 2027 年度以降に原則化し、CO2 吸収型は技術開発を進めます。さらに、CO2 削減 実績に応じた成績評定や表彰、入札加点制度も検討されます。背景には公共工事品質確保促進法の改正があります。

目次へ

□ 6/21 (±)

該当記事なし

目次へ

□ 6/22 (日)

該当記事なし

目次へ

(技術士事務所 稲葉 IT ガバナンス研究所 脱炭素 DX モニタリング) 週刊 脱炭素 DX ニュースウォッチ 2025 第 12 号 : 6/23 配信

編集者: 稲葉 裕一 (principal@inaba-itgl.com)

ご意見・ご要望やお気づきの点があれば、編集者までご連絡ください